

宇宙桜の寄贈について

徳島大学に、宇宙桜が仁淀川町長から寄贈され、助任の丘に移植しました。

【概要】

平成 25 年 3 月 14 日(木曜)、仁淀川町から徳島大学に「宇宙桜」の苗木が寄贈され、助任の丘に移植しました。今は 3 メートル足らずの桜の木ですが、宇宙を旅した生命力は、将来に「きぼう」を持たせてくれる桜となることを期待させます。現在、すでに芽吹いており、4 月には見事な花を咲かせて、多くの人の目を楽しませ、地域交流の輪を広げていくことと思います。

なお、宇宙桜は、本学の助任の丘(常三島キャンパス内)に植えられており、高知県吾川郡仁淀川町、大石弘秋町長の「宇宙桜」の紹介も立てられています。(別紙のとおり)

【「宇宙桜」の紹介】

「宇宙桜」は、宇宙旅行をしたひょうたん桜で、平成 20 年 5 月 28 日、高知県吾川郡仁淀川町立大崎小学校と名野川小学校の児童によって、樹齢 500 年のひょうたん桜の種が採取され、宇宙へ送るために東京の有人宇宙システム株式会社を經由して 200 粒の種がアメリカの NASA へ送られました。

平成 20 年 11 月 15 日午前 9 時 55 分(日本時間)、スペースシャトル・エンデバー号(STS-126)がこの種を搭載して宇宙に出発しました。その後、この種は、国際宇宙ステーション内にある日本の実験棟「きぼう」に移され、約 8 ヶ月半、宇宙の旅を行い、平成 21 年 7 月 31 日、宇宙滞在 259 日、地球を約 4,100 周したのち、若田光一宇宙飛行士とともに無事地球に帰ってきました。同 9 月、本町に 170 粒の種が返還され、播種した種から翌 22 年春に 4 本が発芽し、桜地区の人たちによって大切に育成されました。この桜の枝を接ぎ木によって育成した 50 本のうちの 1 本です。

お問い合わせ先

総務部企画・評価課

責任者 企画・評価課長 川野 晋資

担当者 社会貢献係長 竹内 聡子

電話番号 088-656-9752

メールアドレス

khkoukenc@tokushima-u.ac.jp